

◎今週の御言葉「もう一つの登録」（ルカの福音書2章1～7節、ルカの福音書10章17～20節）

「だがしかし、悪靈どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい」(10:20)。 仲森文穏

○イエス様は30年の後、公生涯に立たれました。30年待たれたのです。私たちは、つい自分の時で動きます。そして、神様天聖の時を待つことが仲々できませんでした。私の好きな文語体の聖を、神様を見上げて生きられました。私の好みを失わわず」と語ります。そんな天を待つこと、神様を見上げて生きられました。希望を見上げて希望私たうです。あんなうに人万事休すという状況でも、天励ます。イエス様がそがなは逃避だと言人がそばにいたら、とてもも。イエス様が置きなのは逃避だと言見上げることが必要なのです。天を見上げるのに人の言い分です。から、生きられた人の側に身を置く人が力強く生きられたのです。天を見上げたことのない人の言い分です。がいりますが、それは天を見上げたことのない人の言い分です。逃避どころか、しっかり現実を見つめ、受け入れ、人が人として生きる道を歩む力となるのです。

○イエス様は地上の登録以外に、もう一つの登録が天にあると仰ります。ルカ10：17以下で宣教に遣わした70人の弟子たちが戻ってきて、喜んで伝道の成果を報告した時、悪霊どもが従うこと喜んではならないと言われ、むしろ私と共に生きることによって、あなた方の名が天に記されていることを喜びなさい、と仰いました。これこそ、イエス様がこの地上に来てくださった目的ではないでしょうか。使徒パウロもフィリピ3：20で「私たちの本國は天にある」と言い、そこにキリスト者の喜びがあると語っています。

この後、河野美智子さんが洗礼を受けられます。洗礼式は、まさに天に名を記される儀式ですね。クリスマスの喜びと共に、心からお祝いを共にしたく思います。